

90名の新入生を新しく本学の一員として迎えることになりました。皆様おめでとうございます。この入学式にご来賓として南丹市 西村市長様、学友会 玉田会長様はじめ多くの方々にご出席いただき、ありがとうございます。

新入生の皆様には京都医療科学大学の全教職員を代表して、改めて歓迎の言葉を申し上げます。保護者の方々、ご家族の皆様には心よりお慶び申し上げます。皆様の心の中は、おそらく新しい大学生活への期待が半分、うまく大学生活を送れるだろうかという、不安半分ではないでしょうか。

本学は創立92年目を迎えた、日本で一番古い診療放射線技師の養成校ですが、創立90周年を記念して、新しい校舎が完成しました。皆様は出来たばかりの新しい校舎で学ぶことができますし、長い間の念願だった学生食堂もオープンしました。島津製作所からの寄付金によって設けられた島津奨学金の表彰式が先ほど行われましたが、各学年で成績の優れた9名に、返済不要な奨学金40万円が授与されました。皆様も島津奨学金の獲得を目指して、一生懸命勉学に励んでください。

4年間本学で学んだ後、ほとんどの人は病院で働きます。現在の最先端医療には、皆様の仕事であるX線撮影、マンモグラフィ、CT、MRI、PETなどの画像診断、がんの放射線治療が不可欠となっています。

病院に来るのは病に苦しむ病気の人々です。仕事をする際には、患者に優しい人柄、寄り添う心がとても大切になってきます。大学では技術的なこと、専門的なことだけでなく、国語、英語などの語学、文学、コミュニケーション、倫理学など一般教養も学びます。これらは仕事と無関係に見えるかもしれませんが、毎日の仕事、人間の成長には一般教養が欠かせません。

「どのような仕事であれ、必ずその人の性格、その人の人間性が現れます」

「優れた人間性が無ければ、一流の職業人にはなれません」

時代はどんどん進んでいます。皆様はこれから50年間以上仕事することになりますが、50年後の医療が、50年後の日本が、50年後の社会がどうなっているか、誰にも予測できません。急速に進歩する医療技術に対応するには、自分

で一生懸命調べ、自ら主体的に勉強する姿勢を身につける必要があります。この自主的に勉強するところが、高校と大学との違いです。大学では「自ら常に学び続ける」という、習慣を養いましょう。そして「変化に対応できる知性」、「混沌とした時代、新しい時代に対応できる能力」を身につけてください。

本学は創設92年という長い歴史がありますので、多くの優秀な先輩が全国各地におられ、本学の同窓会組織；学友会の支部が全国各地にあります。この長い伝統、多くの先輩が本学の財産です。先輩の築いてきた良い伝統を、新入生の皆様がさらに発展させ、より良い素晴らしい大学にしなければなりません。

本学の建学の精神は、創立以来

「品性を陶冶し、有為の技術者を養成する」です。

皆様が品性に優れた、優秀な技術者になるように指導することが我々教職員の使命と考えています。

4年間の大学生活では、よく学び、よく遊び、そして多くの生涯の友を作ってください。新入生の皆様が、実り多い楽しい4年間の学生生活を南丹市においておくことができるよう、祈念しています。

2019年4月3日

京都医療科学大学

学長 遠藤 啓吾